

別表 1

居宅訪問型保育基礎研修カリキュラム

科目	内容	時間
居宅訪問型保育の概要	①児童家庭福祉における居宅訪問型保育の社会的背景、経緯、歴史 ②居宅訪問型保育の実態 ③居宅訪問型保育の事業概要 ④地域子ども・子育て支援事業における居宅訪問型保育の展開 ⑤居宅訪問型保育の有効性と課題	60 分
乳幼児の生活と遊び	①子どもの発達と生活 ②子どもの遊びと環境 ③人との関係と保育のねらい・内容 ④子どもの一日の生活の流れと役割	60 分
乳幼児の発達と心理	①発達とは ②発達時期の区分と特徴 ③ことばとコミュニケーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力（移動運動） ⑦こころと行動の発達を支える保育者の役割	90 分
乳幼児の食事と栄養	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④保育者が押さえる食育のポイント	60 分
小児保健Ⅰ	①乳幼児の健康観察のポイント ②発育と発達について(母子健康手帳、予防接種について) ③衛生管理・消毒について ④薬の預かりについて	60 分
小児保健Ⅱ	①子どもに多い症例とその対応 ②子どもに多い病気（SIDS等を含む）とその対応 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における感染症対策ガイドライン」を周知する。 ③事故予防と対応	60 分
小児保健Ⅲ	①病児・病後児対応 ②各症状に応じた、具体的な対応方法（観察のポイントや各症状に対するケア、処置のほか、最終的に受診を必要な場合はどのような場合かの見分け方のポイントも学ぶことで、容態の急変にも対応できるようにする。）	90 分
心肺蘇生法【実技】	心肺蘇生法、AED、異物除去法等 ※乳幼児を対象とした救急救命が行えるようにその技術を身に付ける。見学だけの科目にならないよう留意する。	120 分
居宅訪問型保育の保育内容	①居宅訪問型保育を利用する家庭（子ども・保護者）のニーズ ②居宅訪問型保育の特徴 ③居宅訪問型保育における配慮事項 ④居宅訪問型保育の実際（演習） ⑤居宅訪問型保育における計画と記録	120 分

科目	内容	時間
居宅訪問型保育における環境整備	①保育環境を整える前に ②居宅訪問型保育に必要な環境とは ③環境のチェックポイント	60 分
居宅訪問型保育の運営	①居宅訪問型保育の業務の流れ ②保育中の注意事項 ③記録、保護者への報告 ④事業所及びコーディネーターへの連絡、チームワーク ⑤居宅訪問型保育者のマナー	60 分
安全の確保とリスクマネジメント	①子どもの事故 ②子どもの事故の予防・保育上の留意点 ③緊急時の連絡・対策・対応 ④リスクマネジメントと賠償責任	60 分
居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項	①職業倫理 ②自己管理 ③地域との関係 ④保育所や様々な保育者との関係 ⑤行政との関係 ⑥居宅訪問型保育者の役割の検討（演習）	90 分
居宅訪問型保育における保護者への対応	①居宅訪問型保育における保護者支援の必要性 ②さまざまな家庭における家族との関わり方 ③居宅訪問型保育における子育てアドバイス ④保護者への対応～事例を通して考える～（演習）	90 分
子ども虐待	①子ども虐待への関心の高まり ②子ども虐待とは ③子ども虐待の実態 ④虐待が及ぼす影響 ⑤子ども虐待の発見と通告 ⑥虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ⑦子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ⑧不適切な関わり方を防ぐために	60 分
特別に配慮を要する子どもへの対応 （0～2 歳児）	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤居宅訪問型保育者の役割 ⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法	90 分
特別に配慮を要する子どもへの対応 （3～5 歳児）	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤居宅訪問型保育者の役割 ⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法	90 分
実践演習 I	①居宅訪問型保育の実際 （DVD等の教材の視聴） ②実践を想定した演習 ③グループ討議	360 分